

事業所名 草津市立発達支援センター湖の子園(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

R7 年

1 月

20 日

法人（事業所）理念		児童の心身の機能の発達および集団生活を促進し、これらの児童の育成と福祉の向上を図るよう、適切な療育を提供します。		
支援方針		保護者と共に考え療育をすすめることによって、こどもの健やかな成長発達を支援し、保護者への育児支援を行います。こどもの意欲や興味を育てていくために、その土台となる生活リズムや身体づくり、遊びへの興味関心、人への信頼感をつくっていくことをめざします。人と関わり合いながら、生活世界が広がっていくよう支援します。		
営業時間		月曜日から金曜日の8時30分から午後5時15分 サービス提供時間(月・火・木・金曜日 午前9時15分から午後2時30分) (水曜日 午前9時15分から午前11時30分)	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	家庭と連携しながら睡眠、食事、排泄など規則正しい生活リズムを整え、身体をしっかりと使って遊ぶことの積み重ねを大切にします。健康な身体づくりの基礎となる食事習慣を育てることをめざして給食を提供し、食事や栄養バランスについて家庭と連携しながら共に考えていきます。		
	運動・感覚	運動発達を促す遊びや散歩を通して、全身の運動機能の育成や健康な身体づくりをめざします。感覚統合の視点を取り入れたトランポリンやエアポリン、マットの山、木製滑り台、ボールプール、揺れ遊具（スイング、ハンモックなど）などを設定し全身を使った遊びに取り組みます。遊びを通して手先を使う経験を積み重ね達成感や「もっとしたい」という気持ちを感じられることを大切にします。プール療育では、水中で全身運動を行うことにより、運動機能の発達と丈夫な身体づくりをめざします。		
	認知・行動	保護者や職員と一緒に遊びながら、こどもが何に興味をもっているかを知り、「みる」「きく」「やってみよう」という意欲を引き出します。また、素材や道具を工夫するとともに、様々に変化する素材（砂・紙・土・水・どろんこ・粘土・粉・石・葉など）に手足や全身で触れ感触を受容することによって興味や遊びを広げていきます。		
	言語コミュニケーション	生活経験を広げ、遊びを通して豊かな感情表現を育てます。こどもの表情や視線、動作から思いをくみとり、それらに動作や言葉を添えて返し、伝えたい思いを膨らませたり表出したりすることにつながるように支援します。		
	人間関係社会性	親子関係を基盤に、安心できる生活の中で家族以外の大人と安定した関係を築き、仲間に気持ちを向けていくことを支援します。一人ひとりの発達や興味関心に合わせた遊びや生活を繰り返し経験することで、人やものとの関わりを豊かにしていきます。遊びの世界を広げ、仲間に認められ「大きくなった自分」を実感するとともに「人を信頼する心」の育ちにつなげます。		
地域支援・地域連携		・保護者プログラム等を通じて、地域での支援について情報提供します。 ・希望に合わせて進路相談を行います。	移行支援	・必要に応じて関係機関との連携・引継ぎ等を行います。
家族支援		・グループでの相談・援助を定期的に行い、保護者がこどもの理解を深め、見通しを持って育児ができることをめざします。 ・支援場面の観察や参加等の機会を提供し、必要に応じて居宅や事業所での個別懇談を設定します。 ・各種専門相談（発達相談・医療相談・言語療法・作業療法・理学療法）を実施します。 ・専門家の講演や先輩保護者との交流、施設見学等を実施します。		
職員の質の向上		・医師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士等による専門指導を受け、療育での支援に活かしています。 ・県内外で実施される療育研修等に積極的に参加しています。		
主な行事等		・こどもたちが経験を広げ、保護者同士が交流を深められるように、季節に合った行事を実施します。 (はじまりの会、ロクハで遊ぼう、ファミリー療育参加、ふれあい広場、療育研修会、お楽しみ会、終わりの会)		